

第2編 水戸市水道事業の課題及び今後の目標

第1章 施設整備事業の実施

本市の水道は、昭和5年から整備した多くの水道施設の経年劣化が進んでおり、更新事業の実施が緊急の課題となっております。さらには、東日本大震災を踏まえた施設の耐震化等も最優先検討事項となっております。これらの事業には多額の費用と相応の期間を要することから、厚生労働省の指導に基づくアセットマネジメント手法を導入し、今後40年間における事業費を算出した結果、総額で約1,120億円の事業費が必要となることが明らかとなりました。

【今後の施設整備に関する目標】

今後、老朽化した浄水施設等の更新を行うほか、概ね10年程度で基幹管路のうち口径500mm以上の管路の耐震適合率を100%、基幹管路（口径300mm以上）の耐震適合率を50%とするとともに、石綿セメント管の解消を図ります。そのため、施設整備事業費が平成26年度から平成30年度までの5年間で約89億円必要となります。【別紙1参照】 - P. 8~5

図表6 今後5カ年の施設整備事業費

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H26~H30
施設整備事業費	1,581,458	1,924,000	1,773,000	1,726,000	1,760,000	1,687,000	8,870,000